

平成 27 年度
卒業論文

飯塚市在住の大学生への地元企
業就職活動支援システムの開発

高橋 亮太

(学籍番号：12232049)

九州工業大学 情報工学部

電子情報工学科

小田部研究室

平成 28 年 2 月 18 日

目次

第1章	序論.....	1
1.1	はじめに	1
1.2	福岡県の就職者数の割合	2
1.2.1	筑豊への就職者数	4
1.2.2	九州工業大学の筑豊への就職率.....	5
1.3	研究背景	7
1.4	研究目的	10
第2章	調査.....	12
2.1	先行調査	12
2.2	大学生のニーズの調査.....	13
2.3	九州工業大学生のニーズ調査	14
第3章	調査結果.....	15
3.1	インタビュー・アンケート結果	15
3.1.1	大学生のニーズ調査の結果.....	15
3.1.2	九州工業大学生のニーズ調査の結果.....	16
第4章	ホームページ作成.....	18
4.1	ホームページの開発.....	18
4.2	ホームページの宣伝について	26
第5章	まとめ.....	28
5.1	結果	28

5.2 今後の課題.....	28
参考文献.....	30
謝辞.....	31

目次

Fig. 1.1 福岡県の年度別の新卒求職者数 (平成 23～27 年)[1].....	1
Fig. 1.2 飯塚の年度別の求職者数 (平成 22～26 年)[1].....	2
Fig. 1.3 福岡県飯塚市の所在地[2].....	5
Fig. 1.4 九州工業大学生の就職者数の割合 全国.....	6
Fig. 1.5 九州工業大学生の就職者数の割合 九州内.....	6
Fig. 1.6 九州工業大学生の就職者数の割合 福岡県内.....	7
Fig. 1.7 福岡都市圏の人口推移[3].....	8
Fig. 1.8 飯塚市の年齢階級別純移動数の時系列分析[4].....	9
Fig. 1.9 飯塚市内 3 大学の新生出身地別割合 平成 26 年度[5].....	9
Fig. 1.10 飯塚市内 3 大学の卒業生就職先地域別割合 平成 26 年度[5].....	10
Fig. 2.1 福岡県の地方就職支援サイト CREREA[6].....	12
Fig. 2.2 福岡県の地方就職支援サイト ヘンジョブ[7].....	13
Fig. 4.1 飯塚企業就職支援サイト.....	19
Fig. 4.2 ホームページ 企業紹介.....	20
Fig. 4.3 ホームページ 飲食店情報.....	21
Fig. 4.4 ホームページ 求人情報.....	22
Fig. 4.5 検索機能.....	23
Fig. 4.6 掲示板.....	23
Fig. 4.7 検索機能 プログラム.....	24
Fig. 4.8 掲示板 プログラム.....	25
Fig. 4.9 e-ZUKA TRY VALLEY での宣伝[7].....	26
Fig. 4.10 飯塚市チャレンジプロジェクトでの宣伝[8].....	27

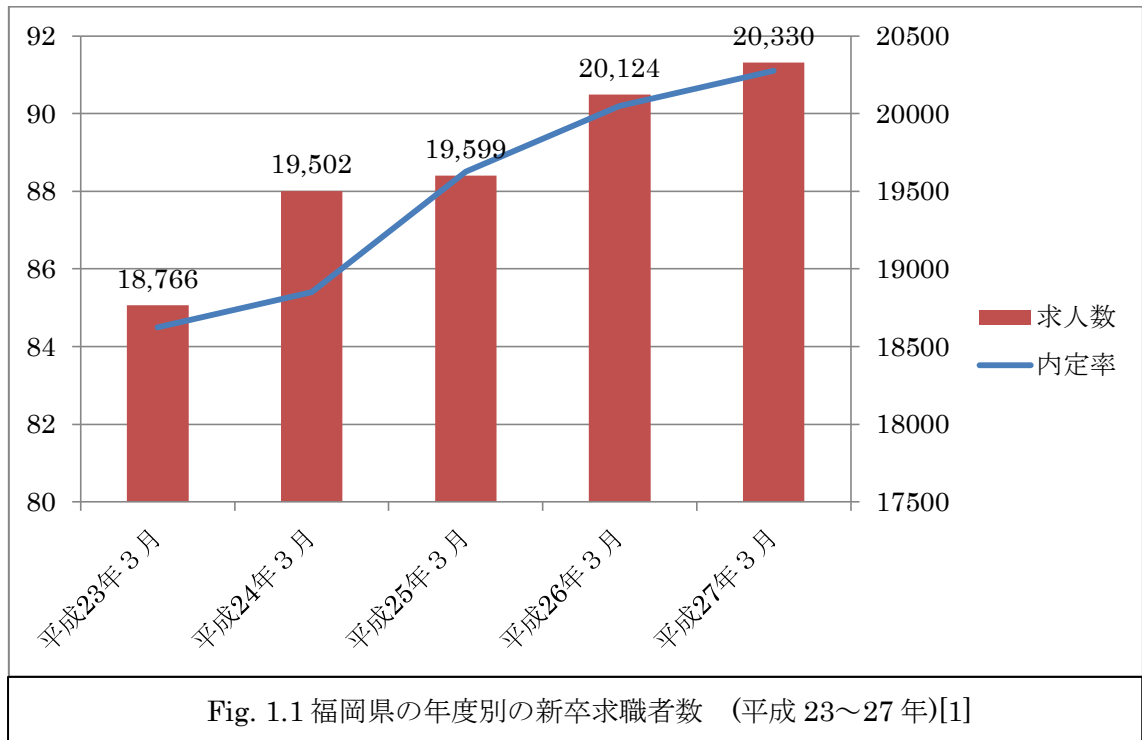
表目次

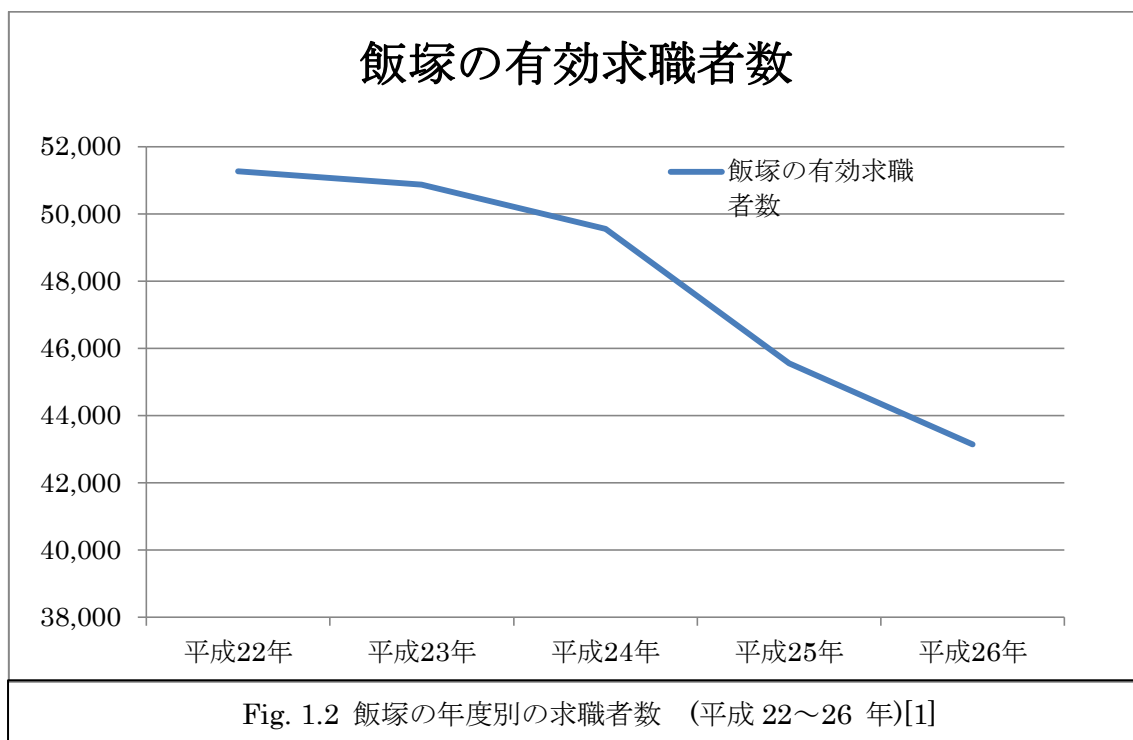
Table 1.1 平成 25 年 地方別月間有効求職者数	3
Table 1.2 平成 25 年 九州地区都道府県別月間有効求職者数.....	3
Table 1.3 平成 25 年 都道府県別月間有効求職者数（上位 5 件）	4
Table 2.1 飯塚合同企業説明会 アンケート内容	14
Table 2.2 九州工業大学生へのインタビュー内容	14
Table 3.1 飯塚合同企業説明会アンケート 結果	15
Table 3.2 九州工業大学生へのインタビュー結果	16

第1章 序論

1.1 はじめに

福岡県の求職者数の推移を Fig. 1.1 に、飯塚の求職者数の推移を Fig. 1.2 に示す[1]。図から見てわかるとおり、福岡県の求職者数は年々増加しており、平成 23 年から平成 27 年の間で約 1,500 人ほどの求職者数が増加している。しかし、飯塚などの地方の中小企業への就職者は多くない。また、それは九州工業大学生においては特に顕著に現れている。それらの理由として、地方の情報発信が少ないなどの原因が考えられる





1.2 福岡県の就職者数の割合

都道府県別の求人数について調べてみた。平成 25 年の地方別月間有効求職者数を Table 1.1、九州地方の都道府県別の月間有効求職者数を Table 1.2、47 都道府県別の求職者数（上位 5 県）を Table 1.3 に示す[1]。九州地区は全体の 14%を占めている。また、九州地区の割合を調べてみると Table 1.2 の結果となり、福岡県が九州地区の 34%を占めていることがわかる。また、47 都道府県別の求人数では、第 5 位に入っており、全国的に見ても福岡県は重要な地域であることがわかる。

Table 1.1 平成 25 年 地方別月間有効求職者数

地方名	求人数	構成比(%)
関東	5566059	29
近畿	3508865	18
九州	2644909	14
中部	2920488	15
中国	1124318	6
東北	1640229	9
北海道	1048428	6
四国	652952	3
計	19106248	100.0

Table 1.2 平成 25 年 九州地区都道府県別月間有効求職者数

県名	求人数	構成比(%)
福岡	904906	34
佐賀	156415	6
長崎	251240	10
熊本	295258	11
大分	210834	8
宮崎	210627	8
鹿児島	325646	12
沖縄	289983	11
計	2644909	100

Table 1.3 平成 25 年 都道府県別月間有効求職者数（上位 5 件）

都道府県	求人数	構成比(%)
東京	1965147	30
大阪	1531477	24
神奈川	1061521	16
北海道	1048428	16
福岡	904906	14
計	6511479	100

1.2.1 筑豊への就職者数

飯塚市は福岡県中部に位置している。筑豊三都の一つであり、筑豊の中心都市であり人口は 121,178 人と最も多い(平成 27 年 1 月末調べ)[2]。市域西北部から西部、西南部にかけて 400 -- 900 m 級の山々に囲まれている山地を形成している。市域東部にも 200 -- 300 m 級の山がいくつかあり小さな山地を形成している。市域中央部から北部は山に囲まれた盆地である。内陸都市のため、夏場は気温が上がりやすく非常に暑い。冬場は放射冷却現象により、最低気温が氷点下の冬日も多い。飯塚市圏の教育機関として、高等学校は、私立飯塚、県立嘉穂、県立嘉穂東、私立近畿大学附属福岡の計 4 校が所在、大学は国立九州工業大学情報工学部、私立近畿大学産業理工学部、私立近畿大学九州短期大学の計 3 校が所在している。明治時代から昭和時代にかけて炭鉱が栄えた土地であり、現代では炭鉱跡地に工業団地が造成され製造業の誘致が行われている。

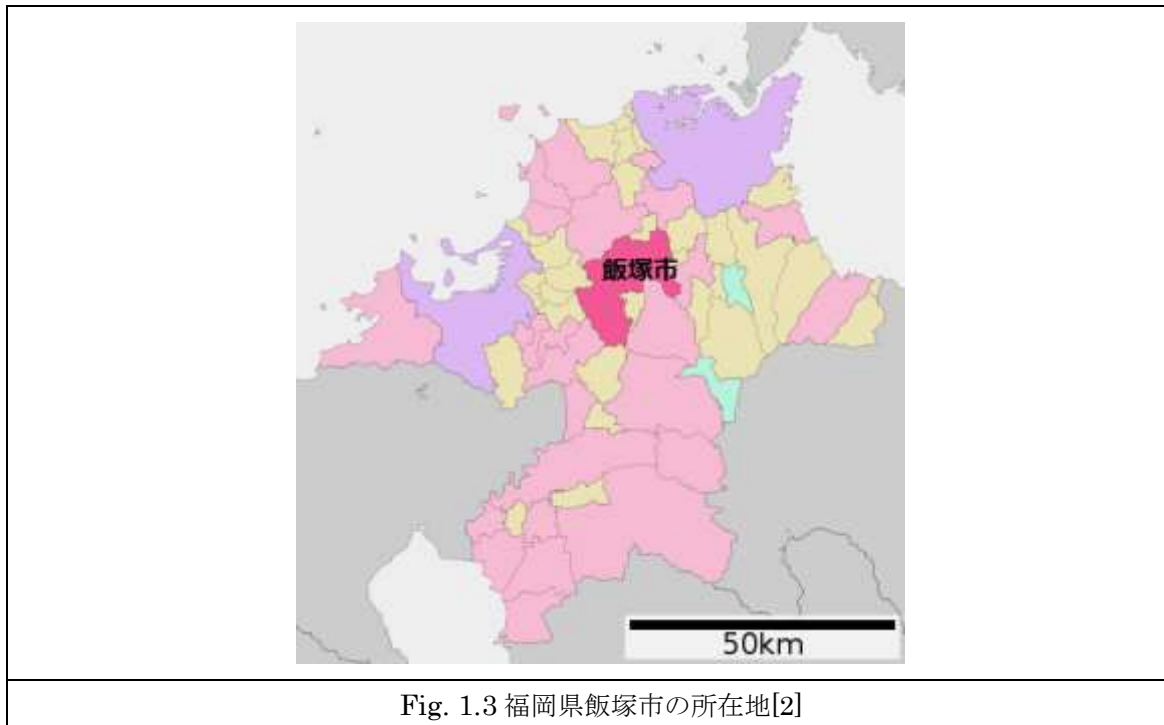
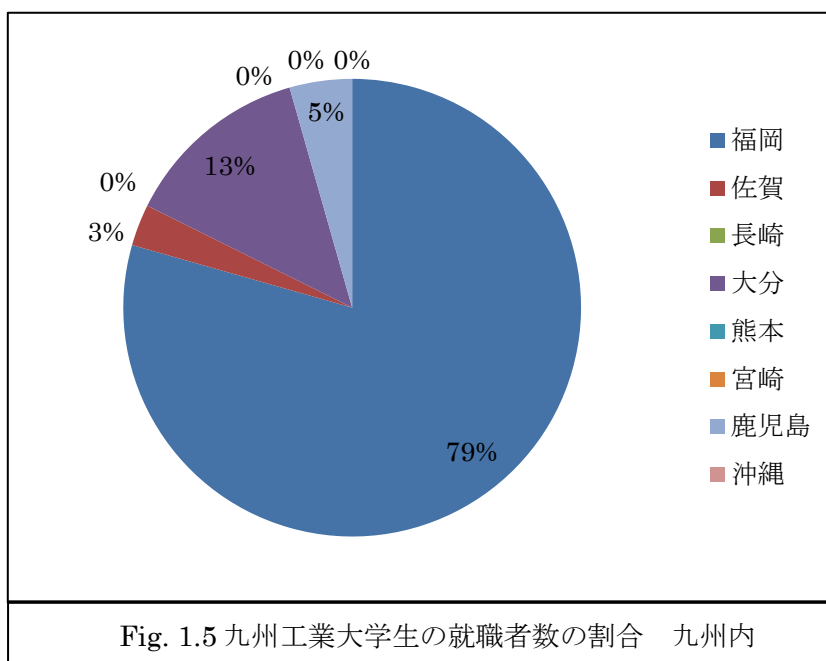
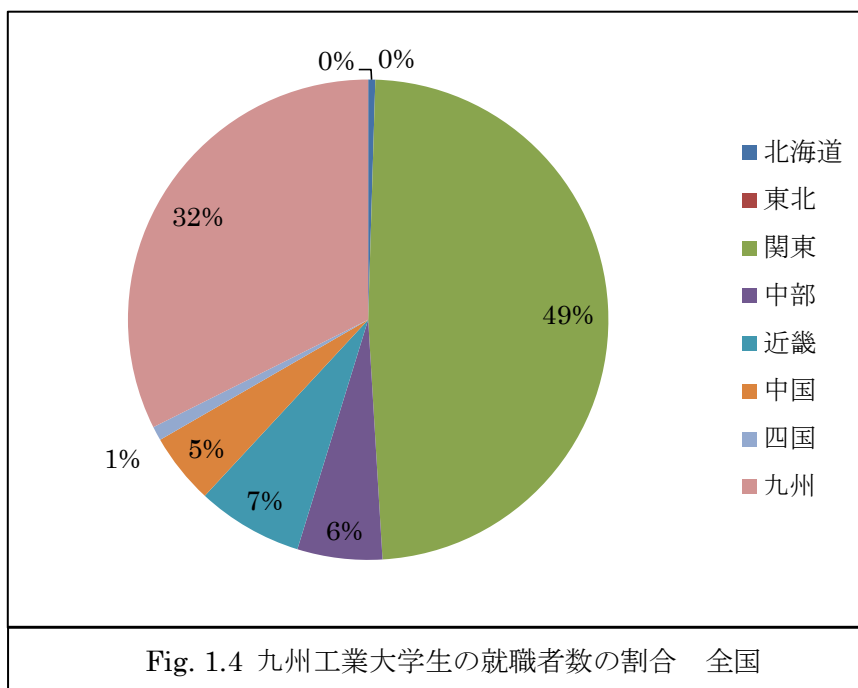
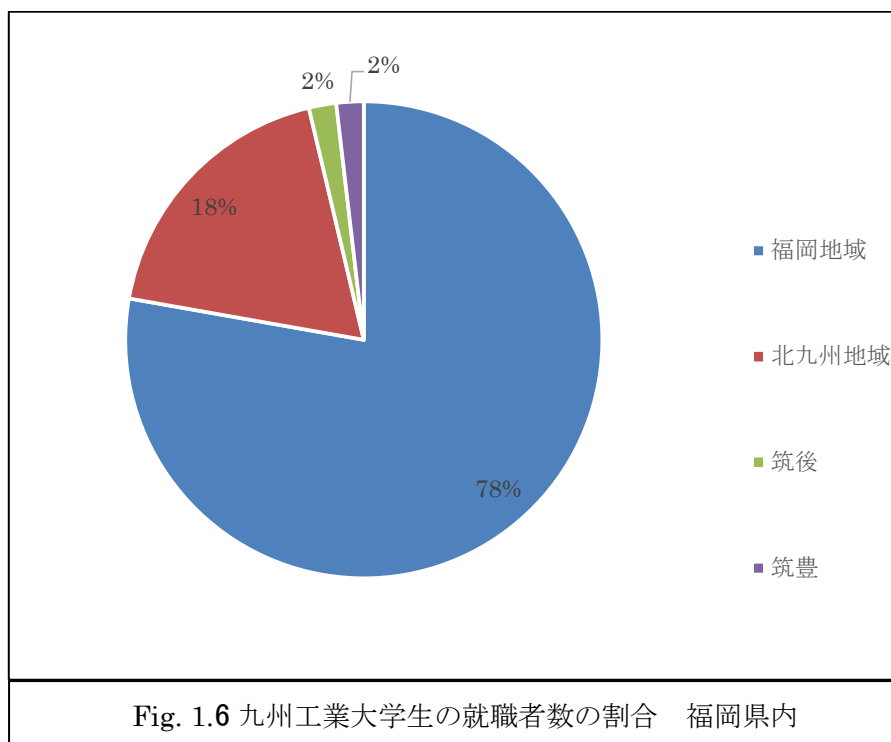


Fig. 1.3 福岡県飯塚市の所在地[2]

1.2.2 九州工業大学の筑豊への就職率

福岡県全体の平成27年3月の求人数は22,055人となっている。そのうちの九州工業大学の就職者数は、学部と大学院をあわせて393人存在する。そこで九州工業大学生の全国の就職数の割合を Fig. 1.4 九州内の割合を Fig. 1.5 福岡県内の割合を Fig. 1.6 にそれぞれ示す。図を見て分かるように福岡県全体の求人数は、全国の3割にも上り、全国でも求人数が多いことがわかる。しかし、福岡県の内訳をみると、福岡県の求人数の8割弱は福岡地域であり、筑豊地域の求人数は、数パーセントしかないことがわかる。





1.3 研究背景

福岡都市圏の人口推移を Fig. 1.7 に示す[3]。この図より、福岡都市圏の人口は年々上昇傾向にあることがわかる。

次に、飯塚市の年齢別の純移動数を Fig. 1.8 に示す[4]。また、国立九州工業大学情報工学部、私立近畿大学産業理工学部、私立近畿大学九州短期大学の飯塚市内にある3大学の新入生の出身と卒業生の就職先地域を Fig. 1.9、Fig. 1.10 にそれぞれ示す[5]。

図を見て分かるように、14～22歳までの年代では飯塚市に移動する人が多く、それよりあとの22～29歳までの年代では飯塚市から離れている。また、飯塚市からの移動の割合は年々増加傾向にあり、1990年から1995年での20代では飯塚市を約800人が飯塚市から離れているのに対し、2005年から2010年では、およそ2000人とおよそ2.5倍もの方が飯塚市を離れていっている。

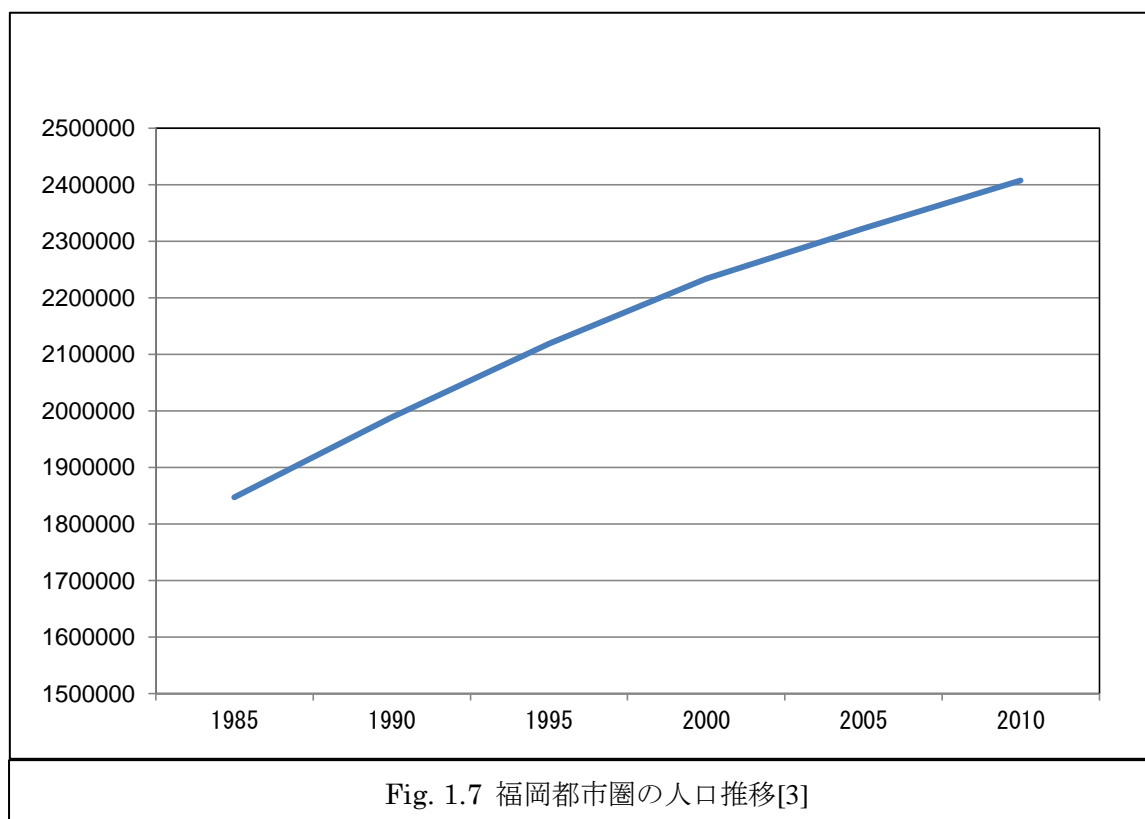
市内の大学区の入学生の8割以上が地域外から入学しているが、就職先は、地域外に就職していく人が9割以上を占める。このことから、九州工業大学などの飯塚にある大学に進学した人が卒業すると飯塚市を離れていってしまうということがわかる。また、飯塚市は情報発信があまりされずに、飯塚市の企業について知っている人が少なく、飯塚の合同企業説明会を開催しても100人程度の人数しか集まらず、九州工業大学生に

至っては、数人程度しか集まらない。飯塚に存在する企業はほとんどが中小企業ではあるが、大手にも負けない技術力を持った魅力的な企業もたくさん存在する。

九州工業大学生が飯塚の企業に就職をしようとしなない理由の1つとして、飯塚の企業についてよく分からず、どんな職種のどんな業務の企業があるか分からないことがあげられる。

他にも、飯塚の商店街などをよく知らずに4年間を過ごしてしまう人が多く、飯塚周辺の人々に関わることなく過ごし、飯塚の魅力を知らずにすごしていく人が多くいるためである。

九州工業大学が存在する飯塚市では、地方の情報の発信が少なく、地域の行事や企業について知られてないことが多くある。そのため、大学の4年間を飯塚で過ごしていても飯塚の企業について知らない人がたくさんいる。



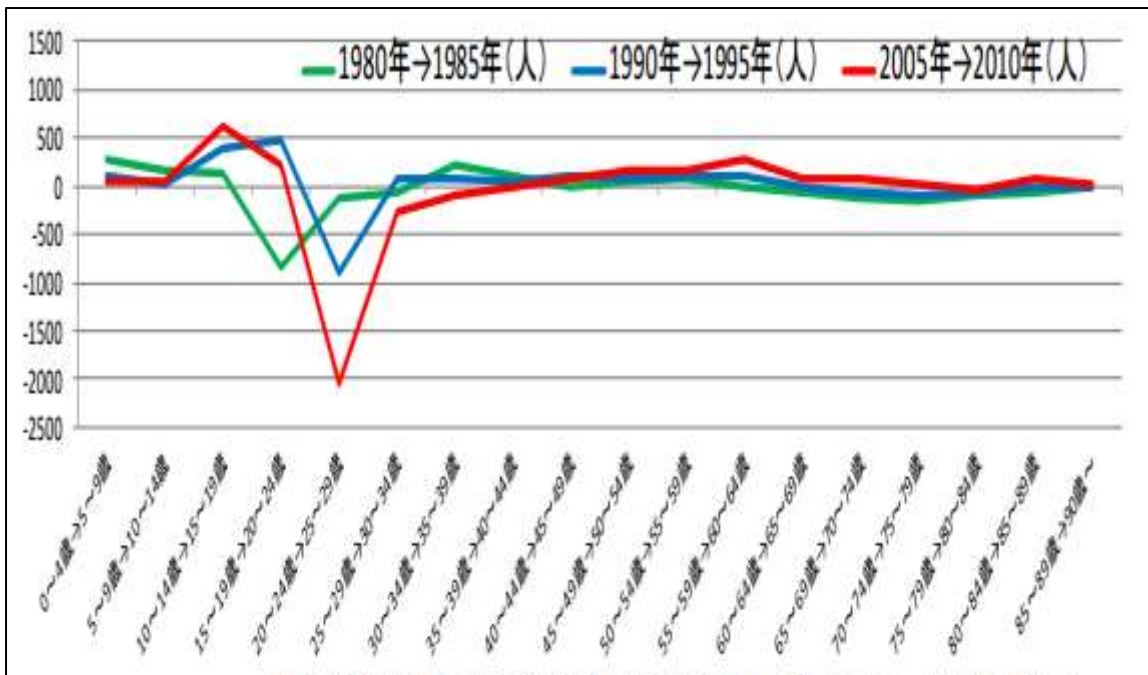


Fig. 1.8 飯塚市の年齢階級別純移動数の時系列分析[4]

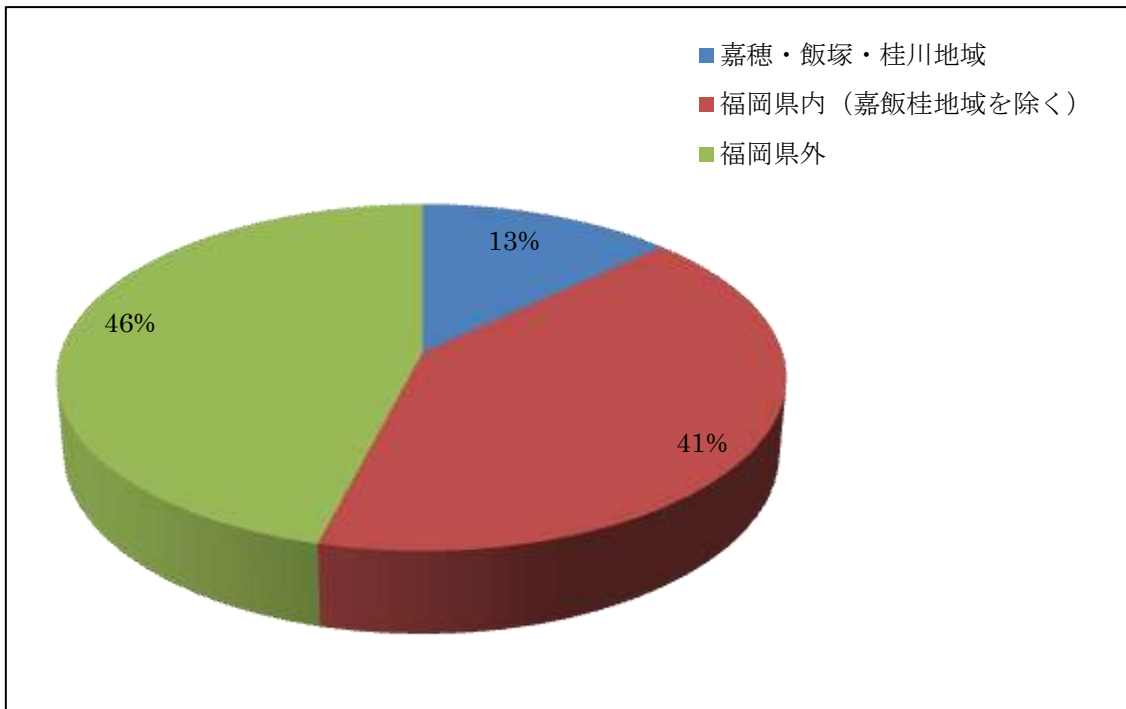
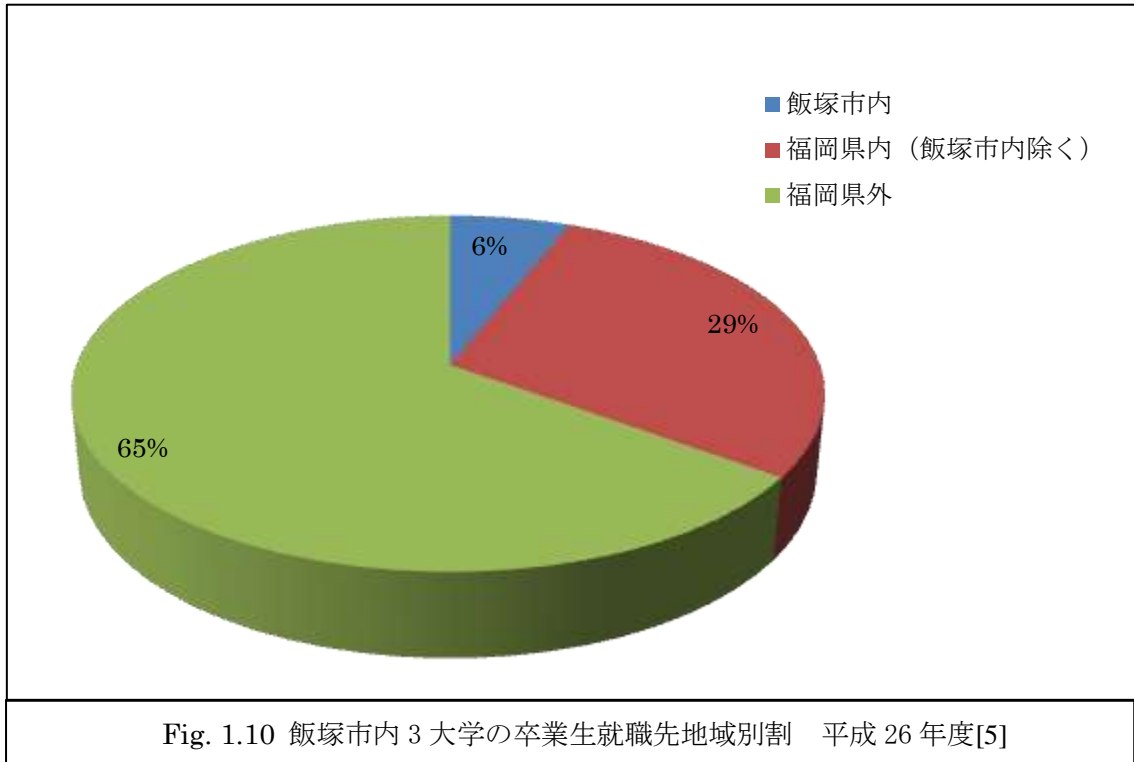


Fig. 1.9 飯塚市内3大学の新生生出身地別割合 平成26年度[5]



1.4 研究目的

飯塚市の地域の情報があまり発信されないため、飯塚市について知っている人が少なく、飯塚市の企業についてもよく知らない人が多く、飯塚市に魅力を感じている人が少ないため、飯塚市の企業に就職しようとする学生は少ない。飯塚の合同企業説明会を開催しても 100 人程度の人数しか集まらず、特に、九州工業大学生は、数人程度しか集まらない。飯塚の企業はほとんどが中小企業ではあるが、高い技術力をもつ魅力的な企業もたくさん存在する。

九州工業大学生が飯塚の企業に就職をしようとししない理由として、飯塚の企業についてよく分からず、どんな職種のどんな業務の企業があるか分からないことがあげられる。また、大手志向の人が多く、中小企業にあまり目を向けようとししないため、中小企業の特徴を知ろうとししない人も多い。

他にも、飯塚の商店街などのよく知らずに 4 年間を過ごしてしまう人が多く、飯塚周辺の人々と関わることなく過ごし、飯塚の魅力を知らずにすごしていく人が多くいるためである。

そこで、本研究の目的としては飯塚市とその企業についてよく知ってもらう場を提供するために飯塚企業の情報を配信するための情報システムの開発を行う。

そして、実際に使用してもらうことによって飯塚の地域や企業について理解してもらい、飯塚を就職先の候補として考えたり、商店街などを利用して地元の人との交流を手助けできるようにしたい。

第2章 調査

2.1 先行調査

現在では、新卒者に対する就職支援サイトは、数多く存在する。有名なものでは、マイナビ、リクナビ、日経ナビなどがあげられる。また、現在、福岡県では、地方の企業に対する就職支援団体がいくつか存在する。

・ CREREA

福岡中小企業経営者協会の就職支援サイトの CREREA を Fig. 2.1 に示す。CREREA は福岡県の地方の就職支援サイトであり、独自の活動として福岡の大学生が福岡県に存在する中小企業を訪問、インタビューをして記事を書いていくというキャリアスクーププロジェクトなど企画も行っている[6]。



Fig. 2.1 福岡県の地方就職支援サイト CREREA[6]

・ヘンジョブ

株式会社 NOTE が運営しているヘンジョブを Fig. 2.2 に示す。ヘンジョブは、筑豊地域の就職支援サイトであり、パートやアルバイトなどの求人情報も載っているが、業種別の分類がされておらず、希望の業種を探すことが難しく、企業情報も少ない[6]。



Fig. 2.2 福岡県の地方就職支援サイト ヘンジョブ[7]

このように、福岡県の地方就職支援サイトはいくつか存在しているが、飯塚という地方特化の就職支援サイトはほとんどなく、企業の数も少ない。また、これらの就職支援サイトでは、企業の概要などの情報を発信したものがメインであり、学生目線での企業情報を配信しているものはほとんどない。また、飯塚の地方情報を発信しているものはない。

2.2 大学生のニーズの調査

ホームページの開発にあたって、大学生のニーズを汲み取ることが重要な課題となる。飯塚地方やその周辺の大学生を対象とした、企業に対する意識についてのインタビュー及びアンケートを行った。初めに、飯塚で開催された飯塚企業合同説明会においてアンケートを実施した。そのときのアンケートの内容について Table 2.1 に示す。

Table 2.1 飯塚合同企業説明会 アンケート内容	
Q.1	学年を教えてください
Q.2	出身地域はどこですか
Q.3	参加のきっかけを教えてください
Q.4	飯塚地域での就職を考えていますか？
Q.5	参加して企業への印象はどのように変わりましたか
Q.6	合同企業説明会に参加してよかったですか？
Q.7	中小企業への就職に対する意識は高まりましたか？
Q.8	イベントに参加しての率直な感想をお聞かせください
Q.9	改善すべき点、ご要望、お気づきの点などをご記入ください

上記のアンケートを実施したのは、飯塚合同企業説明会に参加した学生 100 名前後に実施された。

2.3 九州工業大学生のニーズ調査

次に、より詳しく九州工業大学生のニーズを知るため、九州工業大学 情報工学部 学生の協力を得てインタビューを実施した。質問内容は、Table 2.2 に示す。

Table 2.2 九州工業大学生へのインタビュー内容	
Q.1	飯塚市の企業を知っているか？
Q.2	飯塚の企業に就職しない理由
Q.3	企業に求める要素

上記のインタビューは九州工業大学の 3 年生 10 名に行った。

第3章 調査結果

3.1 インタビュー・アンケート結果

3.1.1 大学生のニーズ調査の結果

飯塚合同企業説明会で行われたアンケートの結果について Table 3.1 に示す。

Table 3.1 飯塚合同企業説明会アンケート 結果	
Q.1	学年を教えてください
A.	4年生:40% 3年生:15% 2年生:38% 1年生:7%
Q.2	出身地域はどこですか
A.	飯塚地域:60% 田川地域:11% 福岡地域:6% 北九州地域:5% その他:18%
Q.3	参加のきっかけを教えてください
A.	在学:42% 知人・友人:21% 広報誌:14% ポスター・チラシ:20% 飯塚 HP:3%
Q.4	飯塚地域での就職を考えていますか?
A.	就職したい:59% 検討したい:35% 全く考えてない:6%
Q.5	参加して企業への印象はどのように変わりましたか
A.	好印象をもった:42% 全く知らない企業を知れた:28% 興味を持った企業があった:17% 面接を受けたい企業があった:13%
Q.6	合同企業説明会に参加してよかったですか?
A.	とてもよかった:68% よかった:31% どちらでもない:1% よくなかった:0%
Q.7	中小企業への就職に対する意識は高まりましたか?
A.	大いに高まった:57% やや高まった:38% 高まらなかった:5%

飯塚合同企業説明会でアンケートを取ったところ、好意的なアンケート結果が多く見られた。特に、中小企業への就職への意識の高まりがみられた。「大企業ではなく普段知ることが少ない中小企業の良い所を知り、今後始まる就活に向けて、良い心構えができると思いました。」「フレンドリーな方がたくさんいて、とても話しやすかったです。また、1対1等で説明を受けたのでたくさん聞きたいことが聞けたのでよかったです。」「地元で募集

している所が見つかって良かったです」などの声があり、飯塚合同企業説明会の参加者による評価はよかった。

ただ、参加のきっかけにあるように、大学や友人からの紹介が多く、飯塚市の HP などからの情報発信が少ないことがわかる。

3.1.2 九州工業大学生のニーズ調査の結果

九州工業大学生へのインタビューの結果を Table 3.2 に示す。

Table 3.2 九州工業大学生へのインタビュー結果	
Q. 1	飯塚市の企業を知っているか？
A.	知っている:10% 知らない:90%
Q. 2	飯塚の企業に就職しない理由
A.	地元や都会で就職したい 情報発信がなく分からない 従業員数が少なく躊躇してしまう
Q. 3	企業に求める要素
A.	知名度（大手のグループなど）や評判 九工大生の OB がいる（過去のデータがある、明専会が開かれているなど） 安定性、華やかさ、雰囲気がいい

Q1.飯塚市の企業について知っているか？という質問に対しては、知らないという人が多く、知っているという人に関しても名前だけを聞いたことがある程度であり、その企業が何をやっているところなのかといった企業情報は知らなかった。

次に Q2.飯塚の企業に就職しない理由としては、まず、飯塚市が田舎というイメージが強くあり、定住したいと思う人が少ないことやどうせ就職するのならよく知っている地元や都会で就職をしたいという人が多い。また、飯塚の企業に関する情報発信が少なく、飯塚の企業について調べることも難しい。そして、飯塚の企業は中小企業が多いので、従業員数が少ないとどうしても尻込みしてしまうという人がある。

最後に Q3.企業に求める要素としては、やはり一番に挙げられるのが、知名度や評判です。そのため、大手メーカーやそのグループ会社に就職をしようという人が多い。また、九工大生の OB がいる（過去のデータがある、明専会が開かれているなど）などの条件を重要視しているひとや企業の安定性、華やかさ、社内の雰囲気を重要としている人がいることが調査で分かった。

そのことから、飯塚企業の魅力や中小企業の魅力を伝えていくためには、大手企業にはない飯塚企業の良いところ（自分のやりたいことができる可能性がある、従業員数が少

なくても利益率が高いところもある、大手に負けない技術力を持っている企業もあるなど) の情報や実際の雰囲気などの情報を積極的に発信していく必要がある。

第4章 ホームページ作成

4.1 ホームページの開発

ホームページの開発では、第3章の調査結果にあるように九州工業大学生は、飯塚地方についての情報や飯塚の企業に関することを知らないなので、実際に飯塚の企業や飯塚の飲食店、求人の情報などを紹介するホームページの作成を行った。利便性の向上のために検索機能の実装や学生の交流の場として掲示板の実装をMySQLやPHPを利用してプログラミングを行った。

作成したホームページでは、主に飯塚の企業の中で九州工業大学生に向いている製造・開発系の企業にインタビューを行っている。また、九州工業大学周辺の飲食店情報や求人情報なども掲載していることで、就職活動者だけでなく、1, 2年のうちからでも情報を見てもらえるようにしてある。

作成したホームページを Fig. 4.1、Fig. 4.2、Fig. 4.3、Fig. 4.4 に示す。また、URL を下記に示す。

<http://n232038k.wix.com/semina>

また、作成した検索機能と掲示板を Fig. 4.5、Fig. 4.6 にプログラムの内容を Fig. 4.7、Fig. 4.8 に示す。

Iいい人
Iいい町
Zずっと
Kここに

ホーム

企業一覧

活動趣旨

飯塚の企業の就職数の増加を目的とし、飯塚の企業や飲食店について学生が自ら考え活動しています。

「学生の、学生による学生のためのサイト」
を目指しています

Fig. 4.1 飯塚企業就職支援サイト

蛭子屋合名会社



理想の朝食とは、何だろうか。日本人がまず頭に浮かべるのは、白く艶のある白米、色鮮やかな漬物、香ばしい焼き魚——そして、味噌汁。

そんな日本人の食卓に欠かせない味噌汁、その柱である味噌の製造を行っているのが、エビス味噌醸造元蛭子屋合名会社である。

蛭子屋は2016年に創業100周年を迎える歴史の深い企業であり、主に味噌制作や味噌を使った加工品造りを行っている。

Fig. 4.2 ホームページ 企業紹介

兵六玉



ジャンル	居酒屋
住所	飯塚市伊岐須148-13
営業時間	17:30~23:30
定休日	日曜日
予算	2000~3000円
TEL	0948-23-6161
おすすめ	大根のフライ

Fig. 4.3 ホームページ 飲食店情報

求人情報

川津食堂



資格	なし
勤務時間	6~9or18~23:30
時給	760円（研修期間あり）

Fig. 4.4 ホームページ 求人情報

検索条件を指定してください

企業名	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
業種	<input type="radio"/> 製造・開発 <input type="radio"/> 建築 <input type="radio"/> その他
フリーワード	<input type="text"/>

Fig. 4.5 検索機能

お名前:

メール:

題名:

Fig. 4.6 掲示板

前略

```
//DB 接続
mysql_connect("127.0.0.1","sample","");
mysql_select_db("sample");

if($debug) print_r($_POST);

if($_REQUEST_METHOD != "POST") {
    print "Error: invalid method";
    exit();}
$query = "SELECT * FROM search ";
```

```
//企業名
if(!empty($name)) {
    $name = addslashes($name);
    $where = "name = '$name' && ";}
//住所
if(!empty($address)) {
    $address = addslashes($address);
    $where .= "address REGEXP '$address' && ";}
```

中略

```
検索結果<br>
<?=$message?>
<table border=1>
<tr><td>名前</td><td>住所</td><td>性別</td><td>スキル</td></tr>
<? while($row = mysql_fetch_assoc($result)): ?>
<tr><td><?=$row[name]?></td><td><?=$row[address]?></td><td><?=$row[gender
]?></td><td><?=$row[skill]?></td></tr>
<? endwhile; ?>
</table>
<a href="input.html">再検索</a>
</body>
```

Fig. 4.7 検索機能 プログラム

前略

```
<body>
<form method="post" action="bbs1.php">
お名前: <input type="text" name="name"><br>
メール: <input type="text" name="mail"><br>
題 名: <input type="text" name="title"><br>
<textarea name="contents" cols="60" rows="5"></textarea><br>
<input type="submit" name="write" value="送信">
</form>
<hr>
<?php
$lines = file('bbs1.txt');
```

中略

```
foreach($lines as $line) {
    $line = rtrim($line);
    $items = explode("¥t", $line);
    print "<b>{$items[2]}</b> 投稿者 : ";
    if ($items[1]) print "<a href='mailto:{$items[1]}'>";
    print $items[0];
    if ($items[1]) print "</a> ";
    print "投稿時間 : {$items[4]}";
    print "<p>{$items[3]}</p><hr>¥n";
}

$fp = fopen('bbs1.txt', 'w');
foreach($lines as $line) fputs($fp, $line);
fclose($fp);

?>
</body>
```

Fig. 4.8 掲示板 プログラム

4.2 ホームページの宣伝について

九州工業大学 電子情報工学科 3年次において開講されている電子情報セミナーⅡにて株式会社 NOTEの協力を得て、ホームページの宣伝を行った。また、飯塚市役所のe-ZUKA TRY VALLEY[8]という活動や飯塚市チャレンジプロジェクト[9]という活動での宣伝も行っていただいた。

e-ZUKA TRY VALLEYでの宣伝の様子を Fig. 4.9、飯塚市チャレンジプロジェクトでの宣伝の様子を Fig. 4.10 に示す。



飯塚市チャレンジプロジェクト
 2月3日 15:28 · 🌐

九州工業大学情報工学部電子情報工学科（小田部グループ）の学生たちがインターン活動の一環として学生向けのホームページを作成しました。
 ※以下は学生が考えた紹介文です。
 ～飯塚のいい企業をもっと知ってもらうために～
 九州工業大学情報工学部の学生が飯塚の企業の就職者増加という目的で自ら考えて活動しています。
 活動は、主に飯塚の企業取材を行っています。... もっと見る



電子情報セミナー



電子情報セミナー

Fig. 4.10 飯塚市チャレンジプロジェクトでの宣伝[8]

第5章 まとめ

5.1 結果

本研究では、九州工業大学生が、飯塚地方や企業についての情報を受け取ることができシステムの開発を行った。その一環として、飯塚地方の就職支援サイトの開発を行った。飯塚地方の就職支援サイトの開発のために情報収集と開発環境の構築を行った。まず、既存の就職支援サイトの調査を行った。次に、大学生のニーズ調査を行うためインタビューおよびアンケートの質問項目の作成を行った。そのあと、実際に飯塚で開催された飯塚企業合同説明会にてアンケートと九州工業大学生に対するインタビューを実施した。その調査をした九州工業大学生のニーズをもとに、飯塚市に存在する企業に訪問して、インタビューをした。また、就職活動生以外にもホームページを見てもらうために、九州工業大学周辺に存在する飲食店の情報や求人情報などの調査をした。

上記のようにして収集した情報をもとに、飯塚企業のホームページの開発を行った。今回は、PHP と MySQL、JavaScript を用いて開発を行った。利便性向上のために検索機能や掲示板などの機能を実装した。

さらに、株式会社 NOTE に協力してもらいフリーペーパーでの紹介や飯塚市役所の e-ZUKA TRY VALLEY という活動や飯塚市チャレンジプロジェクトという活動での宣伝も行っていただいた。

5.2 今後の課題

意見の交流場として掲示板の作成をしたが、セキュリティの問題、誰でも書き込めるため、情報の信憑性のなどに問題がある。今後の課題としては、セキュリティ面の機能の充実や情報の更新性の問題への対処、例えば、企業の方だけが情報を書き込める場を用意して企業に情報を随時発信してもらうような環境づくりなどが必要になってくると考えられる。

また、今回は、九州工業大学生を対象にしたホームページの作成を行ったが、飯塚にはほかにも大学があり、また、いくつかの高校も存在するのでそれらの人を対象にした飯塚の企業情報や飲食店情報の配信なども考えていく必要がある。他にも、飯塚地域の理解を深めてもらうためにも飯塚地域の行事などの情報や飯塚市役所が行っている。

大学生を対象とした飯塚チャレンジプロジェクトなどの活動があるのでその宣伝なども視野に入れていく必要があると考えられる。

参考文献

- [1]厚生労働省 福岡労働局
- [2] i.town - <http://www.iizuka-aitown.com/>
- [3]総務省「国勢調査」
- [4]総務省「国勢調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成
- [5]飯塚市役所 <http://www.city.iizuka.lg.jp/index.html>
- [6] 福岡県の地方就職支援サイト CREREA <http://www.crerea.jp/about/>
- [7] 飯塚市の地方求職支援サイト ヘンジョブ <http://hen-job.com/>
- [8] e-ZUKA TRY VALLEY <https://www.facebook.com/ezuka.try.valley>
- [9] 飯塚チャレンジプロジェクト <https://www.facebook.com/challepro/>

謝辞

最初に、私の指導教官である九州工業大学大学院情報工学研究院電子情報工学研究系エレクトロニクス分野 小田部荘司教授にお礼を申し上げます。私の研究指導をしていただき、学生生活や進路など多くの助言は励ましの言葉をいただきました。前例のない当研究を最後まで続けることができたのは小田部教授のおかげです。

そして、九州工業大学大学院情報工学研究院電子情報工学研究系エレクトロニクス分野 木内勝准教授にも深く感謝致します。研究分野が全く異なる私の研究に対して、助言を下さるなどサポートしていただきました。深く感謝を申し上げます。

株式会社 NOTE 十亀成宗 氏には、企業インタビューやホームページ作成等の支援をしていただきました。多くの助言や励ましの言葉、数々のサポートをしていただきました。その全てに深く感謝申し上げます。

飯塚市役所 産学振興課 太田智広 氏、阿部荘児郎 氏には、統計学において無知な私に対して、助言をいただきました。様々なサポートや励ましの言葉もいただきました。その全てに深く感謝を申し上げます。

タカハ機工株式会社 大久保泰輔 氏、大久保千穂 氏、蛭子屋合名会社 安藤茂友 氏、安藤久代 女史、株式会社春田建設 春田統一 氏、アイテックシステム株式会社 吉田和彦 氏には、お忙しい中、企業インタビューを引き受けて下さった他数々の助言や激励をいただきました。その全てに深く感謝を申し上げます。

九州工業大学大学院情報工学付情報システム専攻 平松佑太 氏には、この1年間ずっと私の研究に対して、助言や励まし、時には叱咤をいただきました。研究だけではなく学生生活、就職活動において、数々のサポートをしていただきました。その全てに深く感謝申し上げます。

電子情報セミナーⅡ受講生電子情報工学科3年 佐々木雄平 氏、瀬戸島健太 氏には、私の研究をサポートしていただきました。共に研究を考察・相談し、何度も助けられました。数々の調査の依頼も、迅速に行動して下さりました。その全てにおいて深く感謝を申し上げます。

技術職員 新山誠司 氏には、アプリケーション開発において無知な私に技術的な助言をいただきました。技術的なサポートをしていただき、励ましの言葉もいただきました。その全てに深く感謝を申し上げます。

その他にも、小田部研究室・木内研究室にて九州工業大学大学院情報工学府情報シス

テム専攻の木戸竜馬 氏、大隈翔悟 氏、増田嘉道 氏と九州工業大学電子情報工学科
4年の伊原大輔 氏、上田元輝 氏、大瀧敦士 氏、田邊裕也 氏、原田將敬 氏、
久野昌隆 氏、行本孝 氏、永田望 氏と電子情報セミナーⅡ受講生電子情報工学科 3年
の川棚湧貴 氏、釣田真琴 氏、永田隼也 氏、二宮尚揮 氏、吉村彩華 女史、桑原佳久 氏、
高橋悠 氏、松本慎太郎 氏、に感謝を申し上げます。

最後に、これまで私を育ててくださり、九州工業大学に通わせてくれた両親や共に
学生生活を過ごし支えてくれた先輩、友人、後輩達に深く感謝を申し上げます。